



株式会社日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号

TEL: 06-6353-7831

FAX: 06-6353-7832

MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp

WEB: https://home.nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 79,200円 外電配送料 12か月 92,400円
 6か月 39,600円 6か月 46,200円

非鉄金属市況・需給動向4月報告

金 史上最高値更新

イスラエルーイラン緊迫化
JOGMEC

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（高原一郎理事長）がこのほど発表した市況動向4月報告によると、金は、イスラエルのイラン大使館攻撃を契機に情勢緊迫化、史上最高値を更新し2,400US\$/ozに迫った。

■金市況動向

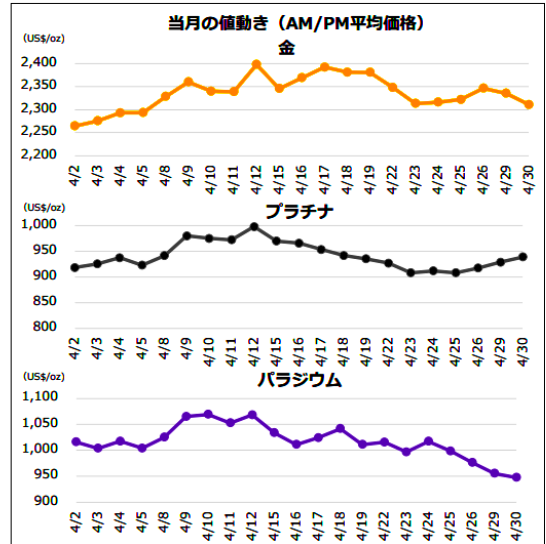
①イスラエルによるイラン大使館攻撃で情勢緊迫化、史上最高値更新：前月を史上最高値で越月したところ、当月最安値の2,264.5US\$/ozでスタート。1日、在シリアのイラン大使館がイスラエルによるミサイル攻撃により破壊され、死者も出たことで中東情勢が一気に緊迫化、月初から対前日比50US\$/oz以上上昇した。そのまま上旬は上昇基調が継続、史上最高値を更新し続けた。

3日、米連邦準備制度理事会（FRB）のPowell議長が年内の利下げ開始に言及したこと、7日、中国人民銀行は、2024年3月末時点での金保有高が対前月比9.3%増（160千oz増）となったと公表、他にもトルコ、インド、カザフスタン、一部の東欧諸国が金を買って増していると報道されたことも上昇に拍車をかけた。

②年内の利下げ観測後退で一時下落も、中東情勢緊張で史上最高値更新：10日発表の米消費者物価指数が3.5%と予想（3.4%）や前回（3.2%）を上回ったことで根強いインフレが示唆され、年内の利下げ観測が後退、これまでの上昇基調から一転、下落に転じた。

しかし12日、イランが同日にも報復措置に踏み切るとの報道を受け対前日比 60US\$/oz 上昇、2,400US\$/ozに迫る史上最高値の2,398.2US\$/ozをつけた。イランによるイスラエル空爆は週末13～14日に行われたが、週明け15日はピークアウトし下落した。イランーイスラエル間の緊張が報道されるなか、16日、FRBのPowell議長が「（インフレ鈍化の確信を得るには）予想よりも時間を要する可能性がある」と述べたことで早期利下げ観測が後退、上昇が抑えられつつ2,400US\$/ozに迫る高値で推移した。

③イランによる報復可能性が薄れ下落：週明け、イ



当月の値動き (AM/PM平均価格)

ランによる報復攻撃の可能性は低いとの報道を受け急落した。25日発表の2024年Q1の米GDP伸び率が1.6%増と前回（3.4%）より鈍化等で26日に一時上昇したが、月末は30日発表の米雇用コスト指数の伸び（1.2%、前回 0.9%）加速等による米利下げ先送り観測から下落、2,310.9US\$/ozで越月した。

■白金族（PGM）動向

①市況：918.5US\$/oz（Pt）、1,016.0US\$/oz（Pd）でスタート。中東情勢緊迫化を受けプラチナは12日に当年最高値の998.0US\$/oz、パラジウムは10日に1,069.0US\$/ozの当月最高値をつけた。

プラチナは24日に当月最安値の908.5US\$/ozをつけたのち、25日にBHPのAnglo American買収計画報道に際し、Angloが南アのプラチナ資産を売却するとの報道を受け上昇、939.0US\$/ozで越月した。

一方パラジウムは、国際エネルギー機関（IEA）が23日、2035年には新車販売台数のうち半数以上がEVやPHV（プラグインハイブリッド車）になるとの予測を公表。需要低下が懸念され下旬は下落し、当月最安値の947.5US\$/ozで越月した。

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>

4月生産・出荷

板・押出出荷 26か月ぶりプラスに
生産は2月連続マイナス
日本アルミニウム協会

一般社団法人日本アルミニウム協会（石原美幸会長）はこのほど、2024年4月のアルミニウム圧延品生産・出荷概況を発表した。

板・押出類の出荷合計は14万2,513トン、前年同月比1.5%で26か月ぶりのプラスとなった。うち板類は8万9,131トン、同5.5%でプラスに反転。押出類は5万3,382トン、同マイナス4.7%で26か月連続のマイナス。板・押出類生産合計は14万1,485トン、同マイナス1.6%で2か月連続のマイナスだった。

板類は生産・出荷ともにプラス。内需は、缶、自動車が増えたほか、卸小売を含む「その他」もプラスだった。押出類は生産・出荷ともマイナス。自動車は前年並みだったが、最大用途の建設のマイナスが続いている。板類も生産・出荷ともマイナス。食料品、電気機械器具ともに減少した。

主な分野の概況は次の通り（出荷量、前年同期比）。

【板類】

(1) 缶材34,838ト、17.2%：開花の遅れで花見需要がずれ込み、3月の出荷減から増加に転じたヒット商品もあり、ビール類も好調だった。

(2) 自動車16,065ト、8.2%：自動車生産台数の減少はあるものの、昨年が比較的数字が低かったことからプラスとなった。24年3月の四輪車生産台数は721,703台、前年同月比-17.3%。

【押出類】

(1) 建設29,984ト、-6.4%：23年2月以来、住宅着工

電気亜鉛・蒸留亜鉛販売
亜鉛ドross・滓買入

大阪亜鉛工業株式会社

取締役会長 林 昭宏

本社・工場 〒555-0001 大阪市西淀川区佃 4-14-3

電話 06-6471-2531~5

FAX 06-6471-5781

東京営業所 〒131-0043 東京都墨田区立花 2-4-5

電話 03-3618-2351~2

戸数は減少を継続しており、建設向け需要は低迷している。24年3月の住宅着工戸数は59,162戸、前年同月比-12.8%。

(2) 自動車10,933ト、0.2%：自動車生産台数の減少はあるものの、トラック・バス向けはプラスを維持し下支えた。

【はく】

(1) 電気機械器具3,963ト、-13.2%：リチウムイオン電池、コンデンサともに減少が継続。コンデンサは-5.3%、リチウムイオン電池は-20.7%。

(2) 食料品1,825ト、-0.6%：購入点数の抑制など節約志向の影響を受けつつも、前年の数字が低いこともあり微減にとどまった。

2024年4月実績 生産および出荷(前年同月比、▲はマイナス)

	生産(トン)	前年同月比(%)	コメント		出荷(トン)	前年同月比(%)	コメント
板類	88,867	0.3	プラスに反転	板類	89,131	5.5	プラスに反転
押出類	52,618	▲ 4.7	26ヶ月連続でマイナス	押出類	53,382	▲ 4.7	26ヶ月連続でマイナス
板押計	141,485	▲ 1.6	2ヶ月連続でマイナス	板押計	142,513	1.5	26ヶ月ぶりにプラス
はく	7,721	▲ 12.4	26ヶ月連続でマイナス	はく	7,703	▲ 12.0	11ヵ月連続でマイナス

<主要製品の動向 Trend of Main Products>

(単位:トン Unit: ton)

	生産 Production			出荷 Shipment			在庫 Inventory		
	2月 Feb.	3月 Mar.	対前年同月伸率(%) VS Year(%)	2月 Feb.	3月 Mar.	対前年同月伸率(%) VS Year(%)	2月 Feb.	3月 Mar.	増減 fluctuate
圧延品 Mill product									
板類 F.R.P.	91,680	87,099	-15.9	85,813	87,642	-15.7	52,141	51,176	-965
押出類 Extrus	50,936	52,494	-9.7	51,867	53,236	-10.2	8,782	9,153	371
小計 Sub Tot	142,616	139,593	-13.7	137,680	140,878	-13.7	60,923	60,329	-594
(はく) Foil	7,595	7,804	-11.6	7,636	7,885	-10.3	4,603	4,626	23
铸造品 Casting	29,308	29,426	-17.2	29,308	29,426	-17.2			
ダイカスト Die Castir	72,374	73,646	-13.1	72,374	73,646	-13.1			
鍛造 Forging	5,572	5,663	9.6	5,572	5,663	9.6			
その他 Others	51,465	56,051	-5.3	51,465	56,051	-5.3			
合計 TOTAL	301,335	304,379	-12.1	296,399	305,664	-12.1			

24-26年度中計 136億円投資

E V向け合金開発・普及など

大紀アルミ

株式会社大紀アルミニウム工業所(林繁典社長)はこのほど、2024年度から26年度までの第2次中期経営計画を新たに策定し発表した。「Global & Green = G & G」の経営コンセプトをもとに、設備投資は前中期計画比108%の136億円を計画。「成長分野への投資」として、ハイブリッド車・電気自動車・燃料電池車分野向けリサイクル合金の開発・供給などを挙げている。

グループは21年度、G & Gコンセプトのもと30年に目指すべき姿『DAIKI∞NEXT∞』を描き、ロードマップ3年間(21年度~23年度)の達成目標を、第1次中経『オール大紀Sustainability Vision~100年企業 その先へ~』として策定。今回は第2次中経として『オール大紀Sustainability Vision“第2章”~変化する時代の中で、変わる常識、変わらない使命~』を策定した。

今中経では、「5本の柱」として、成長分野への投資、経営基盤の強化、環境保全、地域や社会の貢献と発展、人材の育成と活用を掲げている。

このうち成長分野への投資では、トップに「ハイブリッド車・電気自動車・燃料電池車分野向けリサイクル合金の開発・供給」を掲げ、「車体ダイカスト部品用合金、部品メーカーと共同で合金開発」「北米・中国におけるリサイクル合金・開発合金の供給」を挙げている。

また、「高度循環型社会づくりへの挑戦」として、「リサイクル原料選別技術・システムの構築」「水平リサイクルシステムの構築」を挙げている。

これらを踏まえた「資本政策」としては、「資本コ

大紀アルミグループ VISION2030『DAIKI∞NEXT∞』
 ステークホルダーを重視した企業経営のもとで長期的な企業価値を生み出す

資本政策	資本コストを上回る水準のROEの維持	グループネットワークを活かしたコア事業強化
	設備投資計画(2024-2026年)	成長分野への積極投資
サステナビリティ	株主還元強化 (配当性向30%、DOE3.0%程度を目標)	I R活動の強化
	人的資本への投資・人材活用推進 (人材育成・働きがい創出)	136 億円(前中期計画比108%)
	CO ₂ 削減に向けた活動推進	実業活動の緑化
ガバナンス	透明性の高い経営を目指したリスク管理・コンプライアンス遵守	2030年 KPI

2030年 KPI	グループネットワークを活かしたコア事業強化	70%以上
一人当たり年間設備投資額(単位)	一人当たり年間設備投資額(単位)	20万円以上
女性管理職比率(単位)	女性管理職比率(単位)	6人以上
男性管理職比率(単位)	男性管理職比率(単位)	100%
連結総合スコア(ESG)スコア(ESGスコア)	連結総合スコア(ESG)スコア(ESGスコア)	▲30% (FY2019年)

ストを上回る水準のROE維持」で「グループネットワークを活かしたコア事業強化」や「成長分野への積極投資」「I R活動の強化」を示し、設備投資計画(24-26年度)として136億円を盛り込んでいる。

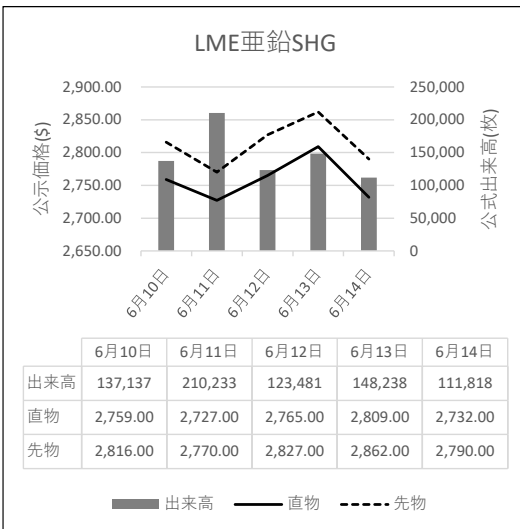
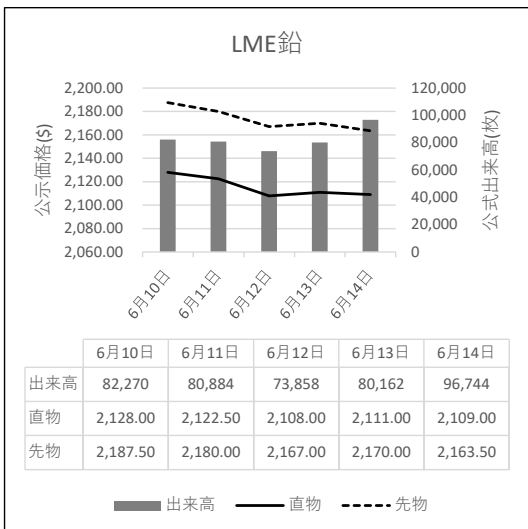
このうち、リサイクル合金開発や新選別装置の導入(リサイクル原料選別技術・システムの構築)の「成長投資分野」は全体の19%の26億円。また、エネルギー使用削減のための過熱水蒸気キルンの導入や保持炉密閉炉化、太陽光パネルの導入拡大など「省エネ対策投資」は35%、47億円。他に環境・安全対策11億円、生産性・品質10億円などとなっている。

同社の次期25年3月期連結業績予想では、売上高は24年比10.6%増の2,906億円、経常利益は同45.2%増の60億5千万円、純利益は同30.7%増の42億4千万円に回復する見通し。経済減速リスクはあるものの、自動車生産の受注残消化や半導体不足のさらなる解消、各国の経済対策効果などに伴い、緩やかな景気回復による自動車生産の増加などを見込んでいる。

25年3月期の設備投資は、聖心製作所の加工機新設、タイでの工場リノベーションやダイカストマシンの新設などで約34億円を挙げている。

<https://nikkankinzoku.co.jp/>
 PW: NWJ2468797

LME公式値週間推移 6月10日~6月14日(現地)



故銅市況

18日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が

前営業日の9,650.00ドルより173.00ドル安の9,477.00ドル。直物の終値は、前営業日の9,615.52ドルより78.72ドル安の9,536.80ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の9,781.00ドルより166.00ドル安の9,615.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の9,741.50ドルより76.00ドル安9,665.50ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場7月限は、前営業日の449.50セントより4.75セント安の444.75セント。SHFE(上海期貨交易所)の銅相場7月限は、前営業日の7万9,680元より800元安の7万8,880元。

18日の東京為替市場TTSレートは、前日の158.53円より0.21円の円安ドル高、1ドル=158.74円。18日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は9,477.00ドル。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(6月14日更新)

直納問屋筋によるロット物 (5トン前後) の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1310~1315、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは1275~1280、並銅は1240~1250、込銅 (高品位=約97%) は1230、セパは888~893。コーペルは要り用筋で829、それ以外は814ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋839、それ以外809~819どころの値頃。並青銅鋳物削粉は1085~1090どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が1290~1310、上銅新くずが1255~1275、普通上銅が1230~1250、2号銅線が1222~1242、並銅が1220~1240、込銅(94-97%)が1168、込銅(90-93%)が1170、下銅が753~803、セパが853~888、コーペルが769~814、黄銅棒地が764~809、黄銅削粉が759~804、黄銅ラジが724~732、交叉ラジが729~786、黄銅銅鋳物が679~686、送りが491~510、上青銅鋳物が1082~1102、並青銅鋳物が1062~1077、上青銅鋳物削粉が1077~1097、並青銅鋳物削粉が1052~1072どころ。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区 (6月前半)

2S=263円 ~284円、63S=248円 ~299円、アルミホイール(1P)=265円~279円、ビス付サッシ=171円~180円、エンジンコロ=169円~181円、込合金(機械鋳物)=172円~180円、缶プレス(ソフト)=166円~178円。

関西地区 (6月前半)

2S=287円 ~189円、63S=180円 ~314円、印刷版=175円~277円、アルミホイール(1P)=170円~311円、ベースメタル=155円~236円、機械鋳物=170円~174円、ダライ粉=192円~195円、ビス付サッシ=175円~200円、缶プレス=183円~188円。

この値と18日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の156万7,000円より2万5,000円安の154万2,000円。この日、電気銅建値は157万円に据え置かれた。

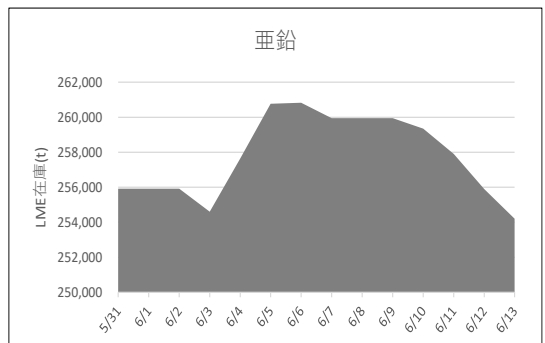
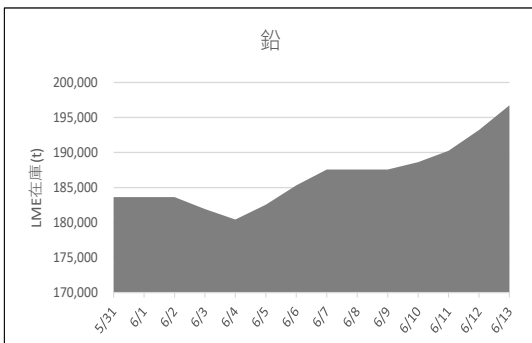
為替動向

17日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで上昇。16時、前週末と比べ0.0030ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=1.0710ドル~1.0720ドルで推移した。ユーロ安が進んでいたことから利益確定目的のユーロ買いドル売りが出易かった。この日、欧州の主要株式相場は底堅く投資家の過度な警戒感が緩和、ユーロ相場を支えた。

17日のニューヨーク外国為替市場で円相場は3営業日の続落となった。前週末と比べ0.25円の円安ドル高、1ドル=157.65円~157.75円で取引を終えた。この日、ニューヨーク連銀が発表した6月の製造業景況指数は前月の-15.6から-6.0に上昇、市場予想の-10.5も上回った。長期金利が上がり円売りドル買いが促された。

18日早朝の東京外国為替市場でも円相場は下落した。8時30分、前日17時と比べ0.10円の円安ドル高、1ドル=157.65円~157.67円で推移した。米国の長期金利が上昇、日米の金利差拡大が意識され円売りドル買いが優勢になった。欧州では株安が一服、投資家心理が改善し円売りが促された。円は対ユーロでも下落。8時30分、前日17時と比べ0.72円の円安ユーロ高、1ユーロ=169.30円~169.32円で推移した。

LME認定倉庫在庫推移 5月31日~6月13日(現地)





LME銅相場は続落 直物終値は9,536.80ドル

COMEX銅相場は反落 SHFE銅相場は続落

LME非鉄相場は総じて軟調 直物終値は亜鉛2,764.47ドル、アルミ2,444.22ドル



18日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、15日入電の9,650.00ドルより173.00ドル安の9,477.00ドル。2営業日の続落で2.63%安。この週1.79%の下落。6月に入って5.09%の下落。3か月物の前場売値も、15日入電の9,781.00ドルより166.00ドル安の9,615.00ドル。2営業日の続落で2.48%安。この週1.70%の下落。6月に入って4.90%の下落。

LME公認倉庫の現地14日銅在庫は、前日の13万3,925トンより2,750トン増の13万6,675トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、6月限が15日入電の455.10セントより2.95セント安の452.15セント。反落して0.65%安。この週0.65%の下落。6月に入って1.92%の下落。7月限も、15日入電の449.50セントより4.75セント安の444.75セント。反落して1.06%安。この週1.06%の下落。6月に入って3.36%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）の銅相場は、6月限が、15日入電の7万9,330元より720元安の7万8,610元。5営業日の続落で3.42%安。この週0.91%の下落。6月に入って4.08%の下落。7月限も、15日入電の7万9,680元より800元安の7万8,880元。2営業日の続落で1.44%安。この週1.00%の下落。6月に入って4.06%の下落。

錫も続落

LME錫相場の前場売値は、直物が、15日入電の3万2,410.00ドルより610.00ドル安の3万1,800.00ドル。2営業日の続落で4.07%安。この週1.88%の下落。6月に入って4.50%の下落。3か月物の前場売値も、15日入電の3万2,700.00ドルより800.00ドル安の3万1,900.00ドル。2営業日の続落で4.49%安。この週2.45%の下落。6月に入って4.85%の下落。

LME公認倉庫の現地14日錫在庫は、前日の4,610トンより65トン増の4,675トン。

鉛も続落

LME鉛相場の前場売値は、直物が、15日入電の2,109.00ドルより4.00ドル安の2,105.00ドル。2営業日の続落で0.28%安。この週0.19%の下落。6月に入って6.28%の下落。3か月物の前場売値も、15日入電の2,163.50ドルより13.50ドル安の2,150.00ドル。2営業日の続落で0.92%安。この週0.62%の下落。6月に入って6.60%の下落。

LME公認倉庫の現地14日鉛在庫は、前日の19万6,725トンより9,575トン増の20万6,300トン。

亜鉛は反発

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、15日入電の2,732.00ドルより25.00ドル高の2,757.00ドル。反発して0.92%高。この週0.92%の上伸。6月に入って7.93%の下落。3か月物の前場売値も、15日入電の2,790.00ドルより13.00ドル高の2,803.00ドル。反発して0.47%高。この週0.47%の上伸。6月に入って7.84%の下落。LME公認倉庫の現地14日亜鉛在庫は、前日の25万4,920トンより3,250トン減の25万950トン。

アルミは続落 アルミ合金は横ばい 北米特殊も横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、15日入電の2,465.50ドルより45.00ドル安の2,420.50ドル。2営業日の続落で3.10%安。この週1.83%の下落。6月に入って9.58%の下落。3か月物の前場売値も、15日入電の2,530.00ドルより43.00ドル安の2,487.00ドル。2営業日の続落で2.76%安。この週1.70%の下落。6月に入って8.31%の下落。LME公認倉庫の現地14日アルミ在庫は、前日の107万9,050トンより5,100トン減の107万3,950トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が15日入電より横ばいの2,200.00ドル。この週横ばい。6月に入って横ばい。3か月物の前場売値も、15日入電より横ばいの2,200.00ドル。この週横ばい。6月に入って横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、15日入電より横ばいの2,520.00ドル。この週横ばい。6月に入って横ばい。3か月物の前場売値も、15日入電より横ばいの2,520.00ドル。この週横ばい。6月に入って横ばい。

ニッケルは続落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、15日入電の1万7,275.00ドルより195.00ドル安の1万7,080.00ドル。2営業日の続落で2.68%安。この週1.13%の下落。6月に入って13.87%の下落。3か月物の前場売値も、15日入電の1万7,500.00ドルより125.00ドル安の1万7,375.00ドル。11営業日の続落で13.66%安。この週0.71%の下落。6月に入って13.66%の下落。

LME公認倉庫の現地14日ニッケル在庫は、前日の8万7,480トンより264トン増の8万7,744トン。

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>


LME公示価格(US\$)／6月17日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	9,477.00	31,800.00	2,105.00	2,757.00	2,420.50	2,200.00	2,520.00	17,080.00
	前営業日比	▲ 173.00	▲ 610.00	▲ 4.00	25.00	▲ 45.00	0.00	0.00	▲ 195.00
先物	公示価格	9,615.00	31,900.00	2,150.00	2,803.00	2,487.00	2,200.00	2,520.00	17,375.00
	前営業日比	▲ 166.00	▲ 800.00	▲ 13.50	13.00	▲ 43.00	0.00	0.00	▲ 125.00

海外非鉄金属相場

(6月18日 入電・現地 6月17日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場買値, 前場売値, 終値, 出来高. Rows include 銅 A G, 錫 H G, 鉛, 亜鉛 S H G, アルミ H G, アルミ合金.

Table for 北米特殊アルミ合金 with columns: 現物, 前日比, 先物, 前日比.

Table for ニッケル with columns: 現物, 前日比, 先物, 前日比.

NY コメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table for NY Comex with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows include 6月限, 7月限, 8月限, 9月限, 10月限, 前日比, 出来高.

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table for 採算価格 with columns: LME (銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル), COMEX, 上海. Rows include 銅, アルミ, 錫, 鉛, 亜鉛.

Table for フリー・マーケット with columns: 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社. Values: 2960.0 (15.0), 2919.5 (2.3).

Table for NY相場 with columns: 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド). Values: 256.35, 257.35, 353.35, 357.35.

Table for ロンドン相場 (ドル) with columns: 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), etc. Values: 2319.90 (▲10.55), 13600, 3.80, etc.

Table for K L T M 錫 (MYR/KG, 出来高トン) with columns: 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$ / US\$レート, etc. Values: 3.7600, 4.7148, etc.

Table for LME在庫 (トン) with columns: 在庫, 増減. Rows include 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

Table for 上海在庫 (トン) with columns: 在庫, 増減. Rows include 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル.

Table for LME プレマーケット (ドル) with columns: 先物気配. Rows include 銅, アルミ, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

Table for 上海相場 with columns: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Rows include 6月限, 7月限, 前日比, 出来高.

※18日のKLTMは入電がありません。

Table for 元・円 = 21.99 with columns: 銅, アルミ, 錫, 鉛, 亜鉛. Rows include 銅, アルミ, 錫, 鉛, 亜鉛.

非鉄金属製品相場

(6月18日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪 東京		鉛亜鉛製品	大阪 東京		電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)	
	大阪	東京		大阪	東京		
銅小板2.0ミリ	1900	1910	亜鉛板0.3×3×7	650	650	V V F	
建築用0.3ミリ	1950	1960	印刷用亜鉛板トッパン用	750	750		2C×1.6 69~71
銅大板2×1×2	2030	2110	給水管13ミリ	280	280		2C×2.0 121~124
銅管(ベース)	1960	2110	鉛板1.5ミリ	600	600		3C×1.6 127~130
水道用管(m当たり)13ミリ	1930	2080	鉛線3ミリ	430	430		3C×2.0 175~178
銅棒25ミリ	1810	1880	軽圧品	大阪	東京	I V	
銅条1.5×100	1865	1925	アルミ箔0.007ミリ	1160	1175		1.6mm 39.7~42.2
銅線0.9ミリ	1890	1940	〃 小板1ミリ	795	805		5.5sq 110~116
銅帯6×50	1770	1880	〃 大板1ミリ	775	795		14sq 273~291
銅平角線	2090	2110	〃 5052板	835	845	CV-T	
黄銅小板2.0ミリ	1510	1510	〃 6061板	1360	1375		600V 3C×38 2098~2230
〃 0.3ミリ	1540	1540	〃 2017板	1290	1405		600V 3C×60 3249~3454
黄銅大板2×1×2	1660	1690	〃 線3ミリ	775	790		600V 3C×100 5445~5788
黄銅管	1990	2080	〃 快削棒50ミリ	995	1010		6kV 3C×38 3268~3462
復水器用黄銅管	1960	2050	〃 合金棒50ミリ(17S)	980	990		6kV 3C×60 4632~4906
黄銅棒快削25ミリ	1250	1280	〃 合金棒50ミリ(56S)	935	950	CVV	(関西-関東)
六角棒	1280	1310					3C×2 153-157
四角棒	1310	1340	貴金属(一般小口向け)				4C×2 205-210
鍛造用	1290	1320	白金(グラム)		◎ 5536		6C×2 295-302
ネーバル	1390	1420	パラジウム(グラム)		◆ 5291		7C×2 338-346
高力	1390	1420	金(グラム)		13007	合金鉄	4月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1695	1690	銀(キログラム)		◎ 167640	フェロマンガ2%以上炭素含有	148
黄銅平角線ロール仕上	1895	1900				〃 その他	202.1
黄銅条1.5×100	1505	1525	レアメタル輸入価格	4月通関 (CIF)		フェロシリコン55%以上	223
リン青銅板一般用1.0ミリ	3560	3550	金属ケイ素(99.99%未満)		357	フェロクロム4%以上炭素含有	260
〃 パネ用0.3ミリ	3800	3800	モリブデン酸化物		5068	フェロモリブデン純分60%以上	4963
リン青銅棒25ミリ	3650	3660	タンタル		77437	フェロバナジウム	3119
リン青銅線3ミリ	4100	4110	マグネシウム		411	フェロニッケル33%未満	645.8
洋白板一般用1.0ミリ	4090	4240	コバルト		4865		
〃 パネ用1.0ミリ	4210	4380	インジウム		35222	電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326

減摩合金

6月17日改定

(500kg以上、大口価格)

1種	6165
2種	6005
3種	5830
4種	5180
5種	4810
7種	1865
8種	1660
9種	1410

銅合金地金

6月3日発表

(標準価格)

大阪

BC 1種	1605
2種	2035
3種	2140
6種	1790
7種	1905
YBSC 3種	1395
LBC 3種	2045
PBC 2種	2175


<https://home.nikkankinzoku.co.jp/>

非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(6月18日調べ)		電気銅 1570(14) 金 11,795(18)		電気鉛 396(13) 銀 152,240(18)		電気亜鉛 499(14) 錫(99.99%) 6,600(10)		インジウム大ロ~小ロ(99.99%) 66,000 ~ 70,000(1)	
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場		東京 仲間相場		地 金		大阪 仲間相場		東京 仲間相場			
1トン以上外税持込						高値		安値		高値		安値	
1号銅線	1400	1399	電 気 銅	◆1523	◆1518	◆1525	◆1520						
2号銅線	1358	—	電 気 亜 鉛	465	459	465	459						
上銅(新切)	1371	1362	蒸 留 亜 鉛	453	447	453	447						
雑ナゲット	1204	1203	再生ダイカスト亜鉛2種	393	387	393	387						
並銅	1313	1292	再 生 亜 鉛 (98%)	348	342	348	342						
下銅	1294	1262	電 気 鉛	373	370	373	370						
銅削粉	1274	1262	再 生 鉛 1 号	354	344	348	343						
銅さい(30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	359	355	353	349						
新切黄銅セバ	1033	1044	錫 1 号	5100	5050	5100	5050						
コーベル	997	1000	ア ン チ モ ン	2400	2350	2400	2350						
黄銅棒地	975	988	ニッケル(メッキ用)	2900	2850	2900	2850						
黄銅削粉	969	983	コ バ ル ト	5000	4700	5000	4700						
並黄銅	930	910	セ レ ニ ウ ム	4100	3900	4100	3900						
黄銅ラジエター	831	815	ピ ス マ ス	1600	1500	1600	1500						
交叉ラジエター	878	861	カ ド ミ ウ ム	800	750	800	750						
黄銅鑄物	935	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	470	450	470	450						
山送り(55%)	530	—	アルミ地金99.70%	◆435	◆431	◆437	◆433						
上青銅鑄物	1116	—	アルミ二次地金99%	375	370	375	370						
並青銅鑄物	1114	1102	〃 90%	350	345	350	345						
上青銅鑄物削粉	1109	—	アルミ二次合金ADC12	464	459	467	462						
並青銅鑄物削粉	1099	1086	鑄物用 C2BS	489	484	491	486						
新切リン青銅(伸銅)	—	1391	青銅合金地金3種	1930	1920	1875	1865						
〃 (鑄物)	1230	—	〃 6種	1650	1640	1565	1555						
リン青銅削粉	1148	1140	ハンダ錫60%	3870	3830	3890	3860						
新切洋白(電子材)	1160	1147	〃 50%	3350	3300	3370	3340						
新切亜鉛	268	268	〃 40%	2885	2825	2840	2810						
ダイカストくず	185	185	減摩合金2種	5565	5535	5570	5540						
亜鉛ドロス	165	175	〃 4種	4790	4765	4795	4765						
上鉛	215	213	〃 7種	1670	1620	1670	1620						
電池素鉛ケース込	80	80	ステンレス・特金	18-8ステンレス 新切		95	100						
活字鉛	195	192		〃 ダライ粉		80	85						
新切アルミ1級	310	318		高耐食ステンレスSUS316		285	285						
新切サッシ1級	320	316		耐熱ステンレスSUS310		410	410						
新切合金1級	306	301		13クローム 新切		35	32						
機械鑄物1級	246	259		ハイス 9種		180	180						
ビス付サッシP	262	265											
合金削粉P	203	199											
込ガラP	166	170											
カン・バラ	232	226											

